

INSPIRE No.11

イベント

第14回GSGミーティング

日時：1月24日（日）

時間：9:00 - 12:00

場所：神奈川県川崎市宮前区鷺沼1-18-11 ニューウェル206号室（東急田園都市線 鷺沼駅正面口 徒歩5分）

費用：5,000円

テーマ：2016年最初のGSGミーティング。ギフトッドに関するチームビルディングゲームなどを楽しみながら、来年2016年のそれぞれのアクションプランを立てます。

申し込み：office@jagifted.org

日本ギフトッド協会事務局



先日、ある劇場のバックステージツアーに参加しました。売りに出されたり、スポンサーが見つかったり、波乱万丈の歴史があり、今この劇場は存在しています。現在はデジタル映写機を使用しているのですが、古い映写機もあり、映写機室が比較的大きかったから残しておける事ができたみたいです。劇場の管理人のお話を聞いていると、ストーリーがそこにあります。映画化できたら見てみたいと思うストーリーでした。皆さんにはどんな人生のストーリーがありますか。きっと素敵な人生のストーリーがあります。そのストーリーを子供たちに話した事がありますか。子供たちは昔ばなしが好きですが、今、起きている事にも興味があります。この映画館のように、昔の話しを聞きながらも、これからも残していけるように、今の取り組みを話してくれました。ほとんどの上映されている映画は他の映画館で上映し終わった物ばかりです。新しい映画だと、映画監督や主演俳優が舞台挨拶などしています。とても応援したくなる映画館でした。



我が子の辛そうな顔はみたくない

我が子を苦しむところはみたくない

親が思うのは同じ。

でも、だからと言って障害物を全てなくし、険しい道避けと親が選択した道を歩むことが幸せだと言えるのでしょうか。

転ぶと危ないから、と小さな石ころを拾い道端にある岩を砕く。

せっせと我が子のためと思いながら道を整備し分岐する他の険しそうな道は選択させないことが我が子の幸せになるのでしょうか。

我が子の前に立ち、現れる動物たちから守り続けることがそれが我が子の成長を助けているのでしょうか。

それは自己満足ではありませんか？

つまづきそうな石ころを避け、転んだ時には自身で立ち上がる。

物陰にあった岩にぶつかっても自身で体制を整えてまた歩き出す。

分岐点に来た時には自分自身で歩む道を選択する。

選んだ道が行き止まりであったなら元へ戻って歩み出せばいい。

何度でも自身で考え自身で選択しやり直せばいい。

親ができることは見守ること

疲れて帰ってきた時に温かく迎えること

必要としてきたときは一緒に考えること

親自身の経験を伝えること

あなたの育児は育自になっていますか？

あなたの自己満足が我が子の成長を妨げていませんか？

自分の子供を信じてそのつないでいる手を放してみる勇気を出しませんか？

我が子のために。



部活はクスリか？リスクか？

「部活は一般的の生徒にはクスリになるかもだけど、ボク（ギフトッドと仮定しよう）にとってはリスクだ！」中学入学早々息子の衝撃的発言に、母はガーンときた！消極的な小学生時代とはサヨナラ、積極的な中学生時代よこんにちは。勉強もスポーツも友情も、前向きに励んでもらいたいと思っていた。

息子の通う中学は、昭和のような熱血スポコン部活システムではない。スポーツ系8種類文化系2種類のわずか10種類。スポーツ系はゆるくて地区大会優勝を目指さないから、球技苦手でも大丈夫かな？文化系は部員ほぼ女子の部活でこっちは無理だね。

さらに、2割の生徒は帰宅部（ただし、バレエ・サッカー・ピアノと小学生時代に頭角を現した生徒がほとんど、部活代わりに課外活動）。新部活申請は×、全員加入義務無しユルユルシステムの学校だ。

内申書のためみんなが入るからと、存在しているような中学の部活。何部にするのか？中学はみんなと足並み合わせることや、社会性を育むこと、友達がたくさん出来る事を期待している母がいた。

ところがどっこい、母の思うようにはいかないのが我が息子。選択したのは帰宅部！しかも途中から帰宅部でなく最初から帰宅部。「興味ある部が無いから無理して入る必要なし、課外活動のボーイスカウトと日本財団海洋クラブが忙しいしね。」

月2回スカウト活動や、夏冬限定の海山スポーツが忙しいのか！？

私はまだまだ甘い！息子を理解しきれていなかった。衝撃的発言は、今となればギフトッドの心の叫びとも思える。もちろん、部活を楽しめるギフトッドもいるとは思いますが、それは本人の興味や好条件が重なって、ラッキーかつレアな羨ましい存在なのかもしれない。

先輩や先生等上の存在との軋轢、同級生間での孤立、興味のない選択肢で自分を偽る事、同調圧力、システムエラー等々、ほとんどのギフトッドに、合わないシステムのように思えてならないのだ。

そういえば誰かさんも語っていたなあ・・・。

「ピアノも少年野球も続かず、部活も途中で辞めて帰宅部だった。そんな自分に対して何て根性がないんだろうと思っていた。」

うんうん、わかるわかる、当然だよ～、自分を偽っていただけだもん、自分を責める必要なんてまるでなし、根性論ではないよ。だって部活はギフトッドに合っていないシステムだし、辞めるのは自然な流れ。先輩ギフトッドの声に共感しまくりの私であった。

しかーし息子よ、きみの母は鬼親だ！長い夏休みを、のんびんだらりと過ごす事は絶対にさせないのだよ！みんなが過ごす普通の夏休み＝部活三昧夏休み を選択しなかった以上、誰もしたことがない夏休みを選択しなければならない。残念ながら、快適ゾーンの外側にもチャレンジしなければならないのだよ。

アドボケイターはまだ見つからない。息子中1の春であった。

愛には自己犠牲が必要？

クリニックには愛を求めているが得られず、苦しんでいるお子さんが来ます。「愛」の処方箋はないのですが、「愛とは何？」と悩んでいます。

私の「愛」の定義は、相手を大切にすること、相手の気持ちをわかろうとする、相手の悪い部分も含めて相手を受け入れるというこの三つです。人から愛されたらいい気持ちになり自尊心が高くなります。逆に誰にも愛されなかったら、怒ったり、落ち込んだりします。

つまり、人は誰でも「愛されたい」と思っているのです。

愛のある世界と愛のない世界だったら、どっちに住みたいですか。皆がお互いに相手を大切に、お互いの気持ちを分かろうとし、お互いに悪い部分も受け入れている世界と、お互いに相手を大切にせず、相手の気持ちをわかろうとせず、相手の悪い部分は絶対に受け入れないという世界。誰も後者の世界に住みたいとは思いません。

しかし、今の世の中が愛に満ちているとは言えません。なぜ愛のある世界を作るのが難しいのでしょうか。

それは、人は愛されたいと思っても、人を愛することが難しいからです。

では、なぜ人を愛するのが難しいのでしょうか。それは、人を愛するにはある程度苦痛に耐えることが必要だからです。

相手を大切にすることとは、自分の時間を割き、疲れていたり眠いのを我慢し、相手のためになることをすることです。例えば、子どものために早起きしてお弁当を作るようなことです。相手の気持ちを理解するには、時間をかけて悩むことが必要です。相手の悪いところ（自分に不快感を与えるようなこと）を受け入れるには我慢強くなければなりません。

人を愛するには快を求めて不快を避けるという本能に逆らわなければならないのです。自分がおなが空いていても愛する子どものために我慢して食べ物を与えるようなことです。

自分も「愛する」ということが十分にできていないと反省し、今日はパソコンで遊びたいのを我慢して、家族の元に早く帰ります。

～ すくすくクリニック 新井

